

Life in Chichester

No.4 Fri. 24 Feb. 2012

夜のチチェスター大聖堂



月曜日の午後は、Bosham と書いてボザムと読む町に行き、スコーン2つをおやつに cream tea を飲んだ。私はどうしても甘いスコーンが2つは食べられないので、残りは学生にお任せするときにきれいさっぱり平らげてくれた。甘いものに関しては女の子には全く適いません。ボザムの町を散策する時間も多少あり、買い物をしたり、Fudge というキャラメルのようなお菓子を買い求めている学生もいた。中には、店の中にいた猫を追いかけて回っている学生もいて様々です。下の2番目の写真は、その cream tea を飲んだ店の外なのですが、そこは学生曰く「千波湖」のような水辺で、人懐っこいたくさんのアヒルが戯れていました。その時は3時くらいでしたが、水が引いた状態で、泥の上にボートがそのまま放置されていました。ここに水が戻るとまれに知らないで駐車した車が水に浮かぶということで地元の人には有名だそうです。車が実際に浮かんでいる写真も店には飾られていました。自分の車でない限り、浮かんで

いるのを見るのは、面白いですね。

そして、水曜日の午後はチチェスター大学のもう一つのキャンパスであるブリズベリーキャンパスを見学。そこは、農学部のキャンパスということで牛、豚、羊などの動物から昆虫、そして大騒ぎの爬虫類などの生き物を飼育していて、ねずみ、ハムスターあたりまではよかったのですが、蛇やゴキブリ、タランチュラにいたっては奇声をあげていました。ただこの日は、あいにくの雨で風も強く、外を歩いて動物を見るには、適していない日でした。もしかしたらこっちに来て一番寒い日だったかもしれないです。



スコーンとにっこり



イギリスに来てからやっと落ち着いてきた感がありますが、ロンドンやブライトンなどの大都市と比べるとチチェスターは小さいですが、ボザムなどの近隣の町を見ると、このチチェスターは、規模的には、買い物や散策をするにはいい規模で、町も時計台を中心に東西南北に広がっており、非常にわかりやすく、綺麗でいい街だと思います。ただ、去年まであった町唯一のコインランドリーが、姿を消していたのは、私にとっては死活問題です。(中西)